給食だより 1月

令和５年１月１６日
志免町立志免中央小学校
栄養教諭　國﨑　陽子

1月24日～30日は全国学校給食週間です

学校給食について知ろう！

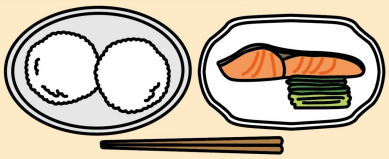
学校で食べる給食は、単なる昼ごはんではなく、栄養バランスのとれた豊かな食事を通して、健康によい食事のとり方、食文化、感謝の心など、さまざまなことを学ぶための教材をなるものですが、もともとは、おなかをすかせた子どもたちのために、学校で昼ごはんを出したことが始まりでした。

学校給食の始まり

日本の学校給食は、1889（明治22）年、山形県鶴岡町にある大督寺というお寺の中にある忠愛小学校で始まったとされています。お坊さんが家々を回ってお経を唱え、いただいたお米や野菜を使って、子どもたちに食事を用意しました。

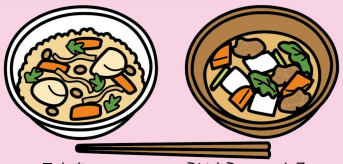
その後、各地へ広まっていきましたが、戦争による食料不足でできなくなってしまいました。

明治22年ごろ



おにぎり　塩ザケ　漬物

大正12年ごろ



五色ごはん　栄養みそ汁

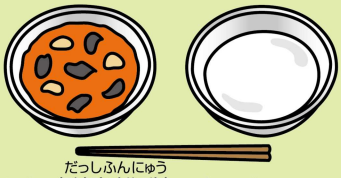
昭和17年ごろ

すいとんのみそ汁

支援物資による学校給食の再開

戦争が終わり、子どもたちの栄養状態が心配されたことから、1946（昭和21）年に、アメリカの LARA（アジア救援公認団体）から給食用物資の寄贈を受け、学校給食が再開されました。

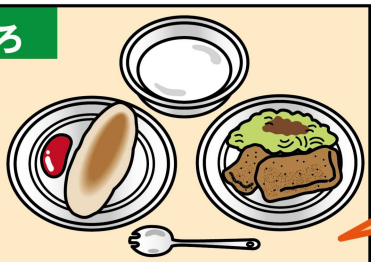
昭和22年ごろ



ミルク（脱脂粉乳）　トマトシチュー

昭和27年ごろ

コッペパン
ミルク（脱脂粉乳）
鯨肉の竜田揚げ
せん切りキャベツ
ジャム



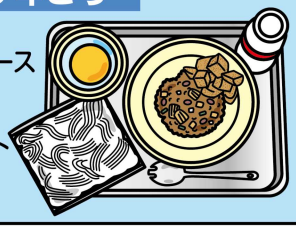
昭和２５年にアメリカから寄贈された小麦粉でパンが作られ、「パン・ミルク・おかず」の給食が始まりました。

学校給食は教育活動に

1954（昭和29）年に「学校給食法」が思考され、学校給食は教育活動としておこなわれるようになりました。それから、時代の移り変わりとともに、学校給食の内容も変わっていきました。

昭和 40 年ごろ

ソフトめん
ミートソース
牛乳
フライポテト
黄桃



昭和 51 年ごろ

カレーライス
牛乳
塩もみ
ゆで卵

昭和３０年代後半には脱脂粉乳のミルクが牛乳になり、コッペパン以外のパンやめんなど、主食の種類がふえました。米飯は、昭和５１年に正式に導入されました。

『給食の思い出』

栄養士　宮本玲奈

私は小学校に入学してすぐは、給食があまり好きではありませんでした。１年生のある日、レバーのから揚げが給食に出て、残すつもりでしたが、担任の先生に「一口かじってごらん」と言われて嫌だなと思いながらかじってみると、とてもおいしかったのです。それからだんだん給食が好きになり、毎朝「今日の給食は何かな～♪」と、お家で献立表を確認してから登校するほどになりました。そんな私が、今では給食を作るお仕事をしています。みなさんにも、給食を好きになってもらえるように頑張ります！

中央小『給食感謝週間』

１月２３日（月）～２７日（金）

★給食委員会の子どもたちが中心になって取り組みを行います。

２３日（月）　調理員の先生のインタビュー
２４日（火）　『食べ残しについて』スライド
２５日（水）　作文発表　１，２，３年
２６日（木）　作文発表　４，５，６年
２７日（金）　栄養士宮本先生のお話

☺ 給食感謝週間特別こんだて　２７日（金）

去年の『ラピュタきゅうしょく』につづいて、今年は『ドラえもんきゅうしょく』が登場します。いつも給食をつくってくださっている調理員の先生が、考えてくれました。

どんな給食か、お楽しみに！！